

報會



号四第年二第

是だけは心得置くべく。

結婚披露の帯に於ける十ヶ条

（太陽の黒点の關係で今年の四月は旬日の間に三度、結婚披露の席に招かれた。そこで先輩古来の言を經とし、自分の思索を緯として是を草す。正しくこれは自分の血のにじむ體驗を語るものである。）

一、礼服を着たればとてシヤツチヨコ張るべからず。

余り角ばつては階段を踏み外し、園につまづくおそれがある。こんな時は身体の外に礼服なく、礼服の中に身体なきが如き心持で居れば好い。殊に借物の場合は

一、腰が痛くなる位お辞儀する覚悟にて臨むべし。

初対面、一面識、熟知を向はず挨拶をする。スヤーは三千回、転ばぬばその味を覺らず、お辞儀は少くも二百七十回しなければこの気分は味はへない。

一、いくらオカシクツテモ、噴き出すべからず。

御披露と云ふものが大体可笑しい様に出てくるもののである。可笑しいのが當り前と思つてゐれば好い。若し堪へられなかつたら、最も監督の嚴重だつた試験場を思ひ出せばよい。

一、知らざるを恥ぢとせずと云ふ格言は用ひぬ方よろし。

でなければ諸君は恥ぢとするものは何も無くおつてしまふ。知らない時は恥ぢかしそうに知つたかぶりをしてゐれば好い。

一、感極まつてコップを倒すべからず。

コップは飲物の器で倒すべきものではない。新郎新婦にはかまわぬが、給仕人の眼を恐れなければならぬ。

一、新郎は〇の出身、學術優等にして濃厚篤実……新婦は〇〇高女を優等の御成績にて御卒業遊ばされた才媛……云々……の仲人の言信じて夢醒ふべからず。

要するにこれは主観的の問題であるから。

一、祝盃は一度にて飲みほすべからずとの説あり。祝盃を二度挙げる場合があるからである。若し一度きりと見極めがついたれば機を見て残りをグイとあふれば好い。でないといふ給仕人が遠慮なく持つて行つてしまふ。彼の手に渡つてから「飲めばよかつた」と思ふのは試験の答案を出してから廊下で本を開いて見るの愚に等しい。

一、記念としてメニュー、花の類を持ち帰る習ひあり。

然しいくら記念だといつもの癖で、ナイフやテラブル、クロスを望んではいけない。給仕人の監視は試によく行届いてゐるから。

一、開會して最後に又用くなんて法はないと云ふ。此理論の通用しないのは何も政治上に限つたものではない。

(ペン)

汗顔の辞

其晩は十時頃帰つた。

「先程近藤さんといふ方が御見えになつて何か書いたものを置いていらつしやいました」
其何か書いたものにはどんなことが書いてあつたか？

中川兄

本日孫田先生欠席の電話に接しまして誠に済みません。愚生のため一席弁して戴き度く只今お尋

ねした次第です。こんな御願ひは誠に御迷惑でせうが是も何かの御縁です。どうぞ簡単によろしいですから明晩御願ひ致します。先は取急ぎ。

近藤恒雄

明日はコンチヤンの「高砂や」である。そして私も御願ひを辱くしてゐる。孫田先生といへば思節に相違ない。其欠席の電話が私の出勤を必然的ならしむる論理的の根拠はトント不明であるが、明日を控えてソワ／＼してゐるコンチヤンの頭の中に若しまぎれの出来心で浮んだのが私だつたとする。孫田といふ字が共通なためかどうかは知らないが、とんだひでえは、おつ御縁になつてしまつたことである。無論「お受けする光栄を有しない」決心の下に當日五時を期して如水館に行くと、水も洩らさぬ打合のありやなしや、媒酌人竹上六三郎氏、静々と歩み来り、いと嚴に表裏総代たるべきを宣ふや、決心はどこへやら程に「まゝ、れし人の如く」受けてしまつた。それからが大変。席は「高砂」位置は「新郎、新婦」の真正面、左右に控えしは禿頭、白頭オンパレード、悉く芝居式、金婚式の大先輩。シマツタと思つた途端にボーツとなつた頭は色とりどりの美酒にます／＼もみぢかくなり其後のことはよ記憶がない。氣がついてみると東橋の袂のおでん屋でクロチヤン・ペンチヤン・コンチヤン、ハチ怪いぞ花婿がおでん屋に来るわけがない。さて

は松木の「お開き」の後だつかな………（以下削除）
（七兵衛）

良書紹介 「續」

初て諸兄。私は此の良書紹介が意外に永く中断されて居た事をお詫びせねばならない。

その言訳は今更天はせるのも野暮の骨頂、そして又言ふのも野暮で御座るで、

乍然此の良書は皆様の為め愚輩一人の特に被占す可きものでないと云ふ良心の発露に依りまして敢然として読稿したのであります。

今回は効果の顕著なる温泉の代表的なものを若干挙げて御覧に供します。

(一) 龍温泉

場所 長野縣諏訪郡北山村（茅野下車）
效用 脳病第一。神経痛、感冒豫防等特に舞踊病的傾向の患者の為め浴槽の端に踊場の設備あり。

(二) 法師温泉

場所 群馬縣吾妻郡新治村宇永井（後関下車）
效用 海拔二千七百餘尺。四面の翠巒夏尚寒し。溪間に渉る河鹿の銀鈴。溪舎の軒を敲ふ原生林はては坐鳥佛法僧の鳴くあたり畫中の仙境。遺傳性脳病に卓效

(三) 新鹿澤温泉

(四) 本澤温泉

場所 草津電鉄東三原駅下車
效用 脳病には餘り效かず「ハゲ」の艶を出す事妙なり。

北佐久鉄道小梅駅下車
脳病の外皮膚病、眼病外傷等に宜し、但し此の温泉に一冬籠れば必ず氣が狂ひ自殺す、是れは愚生の特に聞き及んだ事実なり、多分藥が效さ過ぎるものふらん。

(五) 定義温泉

場所 宮城縣大沢村宇定義（仙台下車）
效用 此の温泉は附近で「氣散」の行く場と聞けば知らぬ者はおい位有名。自然の岩窟を利用し腦を自然に馴れしめ鎮めんとする処である。純粋人用の單独浴槽があるから愚者諸兄安心して可なり

(六) 板の水温泉

場所 九州阿蘇郡長陽村（豊肥線長陽駅下車）
效用 玉に砕くる白川の溪流。水源の礫脚を巡つて白雲室内に去來するあり、逆上によろし但し藥が強い故治つたと見た瞬間湯より飛出す必要あり、然らざれば效き過ぎで又逆上する憂あり。

初て以上数回の温泉を挙げたのですが各温泉皆な温度及效果の程度を異にして居るものでありま
す故若し諸兄にしてこつせり行き度いと思はる、
方がありましたら夜分でも拙宅迄お出で下さい。
とつくり相談にのりませう。

九郎ちやんの如きは野沢温泉で秘かに腦の治療
をやつたのですが駄目なんです。是れは駄目な答
です。野沢温泉は脚氣によろしいのですが腦には
效きませんよ。こんな処で三時間も湯に浸つて居
たなんて本に寄せて魚を求むの類です。九郎ち
やんにはとてもよい温泉があります。何れ後程伯
人的にお知らせしませう。是れは我温泉效用篇中
秘中の秘に属する仙境です。恐らく我國中此処を
除いては九郎ちやんに效く温泉はありませんな。

(狸)

記 録

三月廿九日

武甲山

中川孫一

四月三日—五日

兩神山

中津政里より新道を上り八丁峠、尾ノ内に出で神流川を万場
に下る

四月二十五日—六日

麻生、權現山、中川孫一

消 息

奥野綱重 四月下旬北海道の最地端稚内に出張す。
渡邊九郎 大阪府三島郡吹田町番帳室所引二八三八

松本謙三 東京府葛飾町駒込築井七
近藤恒雄 東京府世田谷代田二二五
高橋要二 雷門仲見世の店の方が全焼けになつてしまつ

てお氣の毒のことになりました。

四月例会は新郎新婦を招待することになつて渡辺、松
木二組、今回から既婚者は同席には夫婦そろつて来る事に
したので中川、五十嵐も御二人連れでとても賑かだった。
特に休暇中なのに学生方の出席素晴しく大盛会だった。

××××××××××

一年がかりで計畫して居った山小屋の敷地も国
立の西隅と云ふことに確定して今日始めからいよく
建築に取りかゝつた。豫定の計畫通りの建物にて
経費八百円である。学生の方も着々資金が集つた
さうだ。針葉樹会の方も前期分は既に全部徴集済
みです。意外に完成が早いので保りも集金に面喰
つてゐますが先日、の葉書で着々郵便を以て御送金
の方も沢山あります。なるべく五月十日までには
御收め願度い、それは五月十五日迄には必ず全部
出来上るのださうです。処が五月十日は国立移転記
念祭、矢野先生銅像除幕式等賑かだったので此の日新
部室山小屋に於て針葉樹会員、山岳部員全部集つ
て懇親会を開き快談をこゝろ度いと思ひまして
一入工事を急がせて居ります。費用は工事完成と
共に支拂はねばなりません。従つて取急が御送金
あらん事を希望致します。